

連載 最終回
考証
革新都政12年

都民が主人公の
都政をふたたび



「特定整備路線建設中止」を求めて都
庁前宣伝する住民=10月25日・都庁前

都市計画道路の見直し求め
都庁前宣伝と
都議会会派要請

都民生活要求大行動実行委員会
14分野270項目要求実現を
2018年度対都予算要求実現を

住民の反対をおしきって
東京都が建設を強行している
都市計画道路の見直しを
求めて特定整備路線連絡会
と都市計画道路問題連絡
会が、10月25日、東京都庁
前早朝宣伝と都議会各会派
への要請行動をおこないま
した。

行動は、国が今年6月に
閣議決定した「経済財政運
営と改革の基本方針201
7」で、「都市計画道路の
見直しを加速する」ことを
打ち出したことをふまえ、
東京都が都市計画道路計画
を抜本的に見直すことも



11月1日、都民生活要求
実現を、東京地方労働

組合評議会(東京地評)、
東京社会保障協議会(東京
社保協)をはじめ労働組合、
商工団体、女性団体などが
参加して、「都民生活要求
大行動実行委員会」による、
東京都来年度(2018年)
予算に対する各団体の要求
をまとめ、その実現と予算
への反映を求めて要請行動
が取り組まれました。

要請要求は、『医療』(窓
口負担の軽減、国民健康保
険制度の変更、3小児病院
組合評議会(東京地評)、
東京社会保障協議会(東京
社保協)をはじめ労働組合、
商工団体、女性団体などが
参加して、「都民生活要求
大行動実行委員会」による、
東京都来年度(2018年)
予算に対する各団体の要求
をまとめ、その実現と予算
への反映を求めて要請行動
が取り組まれました。

改善など7項目)、『社会
福祉施設支援』(福祉事業
所の人材確保、待機児童対
策など4項目)、『都管住
宅』(大量建設、修繕・立
替・環境整備、使用継承な
ど17項目)、『生活保護』
(制度の広報強化、法外援
助の引き上げなど5項
目)、『教育』(35人以下
学級、子どもの貧困・格差
解消、特別新学校施設整備
など35項目)、『産業行政』
(中小企業予算の拡充、印
刷業の積算資料にもとづく
適正価格で行う、皮革関連
産業への支援など19項
目)、『労働行政』(東京
都における正規職員採用拡
大、公契約条例制定、最低
賃金の引き上げ、時間給
500円以上の実現など27
項目)、『まちづくり』(地
域防災計画抜本的見直し、
豊洲新市場に移転せず現地
再整備、特定整備路線建設
をやめるなど16項目)、『ス

ポーツ振興』(推進計画の
策定、オリンピック・パラ
リンピック憲章のもとづく
大会開催など6項目)、『平
和』(オスプレイの横田基
地配備、東京の米軍基地の
返還、「非核都市宣言」制
定のとりくみなど18項目)
14分野、270項目となり
ました。(詳細については、
実行委員会事務局・東京地
評に問い合わせ)行動には、
25団体から延べ329人が
参加しました。

都側からは、要求項目に
関係する関係部局よりあら
かじめ回答が文書で示され
ていました。
個々の要求・要望は、各
す。

に、国の事業認可取り消し
を求めた住民訴訟について
争うことをやめることを求
めておこなったものです。
品川、板橋、北、荒川、
調布の特定整備路線および
優先整備路線沿線の住民21
名が参加し、出動中の東京
都職員にチラシを配布しな
がら、ハンドマイクで訴え
ました。

「世界一ビジネスのしやすい
都市にすることを掲げ、
高齢者介護、子育て、貧困
と格差などの切実な都民要求
はおおむねに実現する一方、
アベノミクスに連動する「東
京大改造計画を推進。子育
てなど財界戦略の枠のなか
での都民との矛盾の調整。

困、社会保障の連続改善と
負担増、多国籍企業のため
の規制緩和など、国民の苦
しみは増すばかりです。
こうしたとき、「住民の
福祉の増進」を責務とする
東京都が、安倍暴走に立
ちむかい、都民のくらしと
営業を守るために全力をあ
げることが求められていま
す。

にもかわらず、小池都
政は、アベノミクスに全面
協力の姿勢を示し、国家戦
略特区での規制緩和と都心
三区を軸とした超高層ビル
の都市再開を推進。都議
会での多数与党の確保以降
は、築地市場の豊洲移転強
行、関東大震災朝鮮人犠牲
者追悼式への追悼文送付中
止など都民世論無視、タカ
力にあわせ都政転換を

私たちが革新都政をつくる
会の出発は、1967年に
革新都政を誕生させた「明
るい革新都政をつくる会」
(以下、明るい会)です。
この明るい会の伝統をひき
つぎ、各都知事選挙をたた
かい、2016年の都知事

団体などがこれまでも東京
都と交渉・要請行ってきた
いますが、都民の切実な要
求を実現する委員会として
唯一この実行委員会が伝統
的に行っているものです。
都側は、真摯な態度で対
応をしています。しかし、
特徴的には、「東京都は」コ
ーディネーターで、区市
町村で行う、国へ伝える」
という答えや対応が目立
ち、地方自治・行政の東京
都が果たす役割は何なの
か、要求要望が切実なだけ
に改めて問われるもので

わたしたち国民は20年
前、戦争へのきびしい反省
のうえに、平和と民主主義
を基本原則として新憲法を
制定し、日本の再建を誓い
ました。
その後、今日にいたる間、
憲法をめぐって曲折も見ら
れました。しかし、私たち
国民は、この憲法を堅持し
得ただけでなく、さらにそ
の基本原則である平和と民
主主義を、いっそう発展さ
せ得る条件をきざりあげてき
たことを誇りと考えます。
とくにわたくしは憲法の規
定する「地方自治の本旨」
に注目したいと思います。
国民生活の基盤と民主主義
の土台は自治体にあります。
1967年憲法記念日メ
ッセージ 美濃部亮吉

美濃部都政が幕を閉じて
から38年が経ちました。
その間に、鈴木・青島・
石原・猪瀬・舛添・小池の
6人の知事が誕生。その6
代の都政をふり返ると、青
島都政時代に若干の変化は
見られるものの、共通する
特徴は、財界・多国籍企業
のための都政、自民党型都
政運営、地方自治の放棄
であり、「都民が主人公」
「憲法をくらしに活かす」
という、地方自治の精神が
忘れさられた都政であった
ということができるとはな
いでしょうか。

鈴木都政・四期(1979
年~1995年)
民間活力活用路線を都政
に持ちこみ、臨海副都心や

豪華庁舎に税金をつぎ込む
一方、「臨調行革」で、福
祉の時計の針をストップ、
青島都政・一期(1995
年~1999年)
福祉施策を根こそぎにす
る「財政健全化計画」を策
定するも、都民の激しい反
対で撤回。世界都市博覧会
を中止。

150力所以上廃止するな
ど、福祉の時計の針を逆戻
りさせる。東京メトロポ
リス構想など東京改造・都
心一極集中を促進。憲法を
否定。

猪瀬都政・任期中辞職(2
012年~2013年)
アベノミクスの「ギャツ
チャー」を自認。石原都政
を継承し、オリンピック最
優先、都民の生活と健康お
ごなりのビジョン策定。外
環道などに税金をつぎ込む
一方、特別養護ホームや認
可保育所の増設要求に背を
向ける。

小池都政(2016年)
石原・舛添都政を継承。
「都民ファースト」を掲げ、
アベノミクスの目玉施策・
国家戦略特区や東京大改造
計画を推進。

いま、安倍政権は憲法改
悪と戦争をする国づくりの
道をまっしぐらにつきすす
んでいます。また、アベノ
ミクスのもとでの格差と貧

私たちが革新都政をつくる
会の出発は、1967年に
革新都政を誕生させた「明
るい革新都政をつくる会」
(以下、明るい会)です。
この明るい会の伝統をひき
つぎ、各都知事選挙をたた
かい、2016年の都知事

「世界一ビジネスのしやすい
都市にすることを掲げ、
高齢者介護、子育て、貧困
と格差などの切実な都民要求
はおおむねに実現する一方、
アベノミクスに連動する「東
京大改造計画を推進。子育
てなど財界戦略の枠のなか
での都民との矛盾の調整。

困、社会保障の連続改善と
負担増、多国籍企業のため
の規制緩和など、国民の苦
しみは増すばかりです。
こうしたとき、「住民の
福祉の増進」を責務とする
東京都が、安倍暴走に立
ちむかい、都民のくらしと
営業を守るために全力をあ
げることが求められていま
す。

にもかわらず、小池都
政は、アベノミクスに全面
協力の姿勢を示し、国家戦
略特区での規制緩和と都心
三区を軸とした超高層ビル
の都市再開を推進。都議
会での多数与党の確保以降
は、築地市場の豊洲移転強
行、関東大震災朝鮮人犠牲
者追悼式への追悼文送付中
止など都民世論無視、タカ
力にあわせ都政転換を

私たちが革新都政をつくる
会の出発は、1967年に
革新都政を誕生させた「明
るい革新都政をつくる会」
(以下、明るい会)です。
この明るい会の伝統をひき
つぎ、各都知事選挙をたた
かい、2016年の都知事

都議会第4回定例会開会日
“都庁行動”へ参加を

2017年都議会第4回定例会が12月1日から開催。都民の
いのちとくらしを守る切実な要求の実現する都政へ！
声を届けよう！！

☆☆ 12月1日(金) ☆☆

8:00~ 9:00
都庁前早朝宣伝 《革新都政をつくる会》
12:10~12:45
都庁前昼行動 <都庁第一庁舎前>
主催：都民連、東京社保協、東京地評

選挙では、野党と市民の共
同での選挙に参加し、鳥越
俊太郎氏を候補者に、その
勝利に全力をつくしました。
いま、安倍暴走政治が国
民生活にかつてない苦しみ
をもたらす、小池都知事が
これを連動して、暴走政治
た責務です。(卯月はじめ)